

テーマ

「防災教育」の取組 ～地震による津波を想定した避難訓練の改善について～

鹿児島県徳之島町立東天城中学校

I 学校の概要

東天城中学校は、徳之島北部にある生徒数28人の小規模校で、目前にはきれいな里久浜がひろがる自然豊かな立地である。海抜は3メートルで、大きな地震による津波の際は、甚大な被害が出る危険性が高い。

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

- (1) 年間3回の避難訓練を実施
 - 1回目 避難場所と経路の確認
 - 2回目 予告あり抜き打ち訓練①
 - 3回目 予告なし抜き打ち訓練②
- (2) 地震による津波を想定した訓練
 - ・ 地震への対応訓練
 - ・ 津波からの避難訓練
 - ・ リモート講話等による事前学習
- (3) 避難所シュミレーション（公開授業）
 - ・ 「もし学校が避難所になったら」と想定し、中学生ができることを話し合った。

2 避難訓練のねらいと内容

- (1) ねらい
地震による津波を想定して、より早く高く避難できる場所・経路を確認する。
- (2) 被災時の想定工夫
停電で校内放送が使えない、町内放送が聞こえない、負傷して歩けない生徒がいる等を想定して訓練した。
- (3) ワークショップ形式での振り返り
避難を振り返って、課題や反省点を確認し、修正する活動の場を設定した。
- (4) 拡声器、安全器具の定期点検

3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) 高い津波を想定した新しい避難場所と経路の設定
南海トラフ級の大地震による津波を想定した避難場所と経路を探し、時間・距離の計測をして最も早く避難できる高台を改めて避難場所に設定した。
- (2) 避難後のワークショップの実施
講話や指導による振り返りではなく、ペアやグループでの反省、課題の確認などをワークショップ形式で行い、生徒の防災意識の高揚を図った。

4 避難訓練の状況

- (1) 地震による津波からの避難訓練の実施
ア 開催期日 令和3年11月5日（金）
イ 参加者 全校生徒、全教職員
ウ 参観者 なし（抜き打ち訓練）

(2) 避難訓練の実際



【地震による津波を想定した避難訓練】



【ワークショップによる避難方法の振り返り】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

- 避難訓練前後のリモート講話やワークショップ等に取り組む中で、生徒・教員とも防災意識が高まった。
- 被災地の現地研修や専門家の助言で具体的な改善を図ることができた。
- 各家庭においても避難方法・場所の確認ができた。

(2) 課題

- 起こりうる様々なケースを想定して更に訓練内容を工夫していきたい。
- 関係機関との連携を基に、避難後の動き等について確認が必要である。
- 保護者への引き渡し場所、方法等について再度周知徹底を図りたい。